



「お」と「を」の^{つか}^わ使い分け

なまえ

がつ 日にち

つぎの文に「お」か「を」をいれて、文を^{ぶん}かんせいさせましょう。

3 じに やつ たべました。

かえりなさい。て あらってきてね。

じいさんは、 もち やきました。





「お」と「を」の使い分け

なまえ

がつ 日にち

つぎの文に「お」か「を」をいれて、文をかんせいさせましょう。

がわで、ちいさなさかな を見つけました。

きたら、すぐにか あります。

べんとう もって、やまにいきます。





「お」と「を」の使い分け

なまえ

がつ

にち

つぎの文に「お」か「を」をいれて、文をかんせいさせましょう。

さらに ならべました。

まわりさん よびました。

きなおとがして、 どろきました。





「お」と「を」の^{つか}使い^わ分け

なまえ

がつ 日にち

つぎの文に「お」か「を」をいれて、文^{ぶん}をかんせいさせましょう。

りがみ りました。

あさ、とうさん こしました。

つり もらいました。





「お」と「を」の使い分け

なまえ

がつ 日にち

つぎの文に「お」か「を」をいれて、文をかんせいさせましょう。

わたしの かあさんは、 しゃれです。

あ いろの さら かいました。

なかがすいたので、 にぎり たべました。

